

令和7年9月1日
学 校 職 員 課

小学校の学校主事業務の民間委託について

1 主旨

令和4年4月から民間委託を開始している小学校の学校主事業務について、令和7年度の新規委託校の実施状況と令和8年度からの新規委託予定校を報告する。

2 現状

(1) 学校主事の人員状況

令和7年4月現在 学校主事正規職員 95名（小学校等に配置）

※1校あたり、正規職員2名、会計年度任用職員3名（標準的な配置）

※今後、5年間で20名程度の退職者（再任用フルタイムを含む）が見込まれる。

(2) 学校主事の業務

1	環境整備業務	○管理諸室、トイレ、校舎敷地内・学校外回りの清掃 ○窓ガラス清掃、床ワックス塗布 ○校庭、学校外回りの除草、樹木剪定 など
2	管理修繕保守業務	○電気器具の保守・取替え ○ドア・床・門扉・柵、教材等の補修 ○校庭整備・散水、花壇・観察池整備 など
3	校務・庶務的業務	○来客受付・案内・安全確保 ○文書交換・郵便物の受領・配付 ○会議、学校行事等の準備、湯茶接待 など
4	施設管理業務	○各窓、扉の施錠管理・点検・修理及び鍵の管理・保管 ○消燈確認、火気類の状態確認及び処置 ○不法侵入者、挙動不審者、潜伏者等の発見処置など
5	学校安全・災害対策業務	○学校や区から要請があった場合に優先して実施する業務（安全パトロール、警戒態勢時の校門警備など） ○災害発生時や児童に事故があった場合の対応 など
6	児童の安全・擁護に関する業務（小学校特有の業務）	○交通安全誘導（立番） ○校外学習等への付き添い など

3 民間委託の実施状況について（9校）

(1) 年度別導入校

令和4年4月～ 駒繫小学校、芦花小学校

令和5年4月～ 奥沢小学校

令和6年4月～ 東玉川小学校、塚戸小学校、希望丘小学校

令和7年4月～ 桜小学校、桜丘小学校、桜町小学校

(2) これまでの履行状況について

小学校の業務委託導入開始の令和4年度より毎年、新規委託校に対しては年2回の履行状況調査を実施し、そのほかの委託校については年1回の履行状況調査を実施している。また、令和5年度には、駒繫小学校、芦花小学校、奥沢小学校の3校の小学3年～6年生の児童、全学年の保護者、各学校の常勤教職員を対象としたアンケート調査を実施し、業務や作業員に関する意見や要望を確認するなど、業務委託にあたり、丁寧に学校現場の状況を把握しながら進めている。

4 令和7年度の新規委託校における業務の履行状況について

業務の質の維持・向上を図ることや委託化の効果・検証のため、令和7年度新規委託校3校（桜小学校、桜丘小学校、桜町小学校）に対し、以下の内容を実施した。

(1) 履行状況調査の実施（6月）

次の評価項目について校長が5段階評価（5 優秀、4 良好、3 普通、2 やや不満、1 不満）をしている。

評価項目	評価の内容
作業員について	勤務状況、環境整備業務、管理修繕保守業務、校務・庶務的業務、児童の安全・擁護に関する業務（立番等）等
業者の体制について	定期的訪問、学校の要望等への対応
関係者の評価	児童の反応、保護者等来校者の反応、教職員の反応
総合評価	

3校での各評価項目に対する評価は概ね良く、総合評価において、桜小学校、桜丘小学校、桜町小学校の3校とも5段階の4の評価（良好）であった。

(2) 学校管理職へのヒアリングの実施（7月）

上記（1）の履行状況調査を踏まえ、教育委員会では各学校の管理職にヒアリングを実施した。

①環境整備業務

- ・常に細かいところまで気をかけ、校長室や教室等の清掃を行っている。

②管理修繕保守業務

- ・学校からの修繕依頼に迅速に対応している。
- ・学校に対し池の清掃について提案し、委員会の子どもたちや地域の方と清掃を行った。

③校務・庶務業務

- ・言葉づかいや態度が丁寧であり、来客への対応が良い。

④児童の安全・擁護に関する業務

- ・登下校時の交通安全誘導では、子どもたちへの対応やあいさつなど問題なく実施している。
- ・校外活動の付き添いなどの業務を支障なく実施している。

⑤非定型的な業務

- ・学校からの依頼に応じて車両を用意し、物品搬送を行うことで円滑な学校運営に寄与している。
- ・災害時対応に備え、避難訓練に作業員に参加してもらい役割等を確認できている。

⑥関係者（児童、保護者、教職員）の反応

- ・教職員からは迅速に対応している、教職員や保護者からは学校をきれいに清掃してくれているとの声がある。

（３）委託事業者へのヒアリングの実施（８月）

上記（１）履行状況調査、（２）学校管理職のヒアリングを踏まえ、教育委員会では委託事業者にヒアリングを実施した。

- ・普段からあいさつ等のコミュニケーションを心がけ教職員等との関係を築いている。
- ・日常業務のほか、急な物品運搬等の業務にも学校と協議しながら臨機応変に対応されている。
- ・小学校特有業務である交通安全誘導（立番）や校外学習の付き添いが支障なく実施できている。
- ・区から委託事業者に対し、学校との連絡調整を密に取り丁寧に対応することで業務の質の維持・向上に引き続き努めるよう依頼した。

５ 民間委託化の今後の方向性について

（１）小学校の学校主事業務委託化の方向性について

教育委員会としては、上記の履行状況調査やヒアリングの実施結果を踏まえ、適切な学校運営という観点から、次年度以降も、以下の点を留意しながら委託を導入する方向で進めていく。

- ・業務委託の効果の確認や業務の質を確保するため、学校への履行状況調査の実施や事業者とのヒアリングを実施する。
- ・委託校数や委託校は、地域性、規模、学校事情なども考慮しながら、学校主事職員の人事に影響しないよう年度ごとに決めるものとする。

（２）北沢学園中学校（学びの多様化学校）について

北沢学園中学校については、校舎内や学校外回りの清掃等の環境整備業務、施設の簡易な修繕等の管理修繕保守業務、来客受付・案内等の校務・庶務的業務などを中心とした学校主事業務の内容が既に業務委託が完了している他の中学校と概ね同内容となることが想定されるため、他の中学校と同様に、令和８年４月からの開校予定にあわせて事業者への委託により業務を開始する。

６ 令和８年度の委託予定について

（１）新規委託予定校

太子堂小学校、京西小学校、中町小学校

北沢学園中学校（学びの多様化学校）

（２）委託事業者の選定

委託事業者については、公募でのプロポーザル方式による事業者選定を実施する。

（３）今後のスケジュール（予定）

令和７年 ９月～ 委託事業者の公募（プロポーザル方式）・選定開始

１２月 委託事業者の決定

令和８年１月～３月 新規委託校における委託準備、引継ぎ、事前研修等実施

４月 新規委託校の委託開始